

# 第 学 年 組      技術・家庭科学習指導案

指導者

## 1 題材名 幼児の成長

## 2 題材について

### (1)題材観

中学生期に自分の成長を振り返り、幼児の成長や家族、家庭生活について実践的・体験的な学習や問題解決的な学習をすることにより、自分の成長は、家族やそれにかかわる人びとに支えられてきたことに気づくことができる。人とのかかわりや家族家庭生活を考える機会をつくることにより、生徒が主体的に家庭生活を営もうとする意欲や態度が育成されると考え本題材を設定した。

### (2)生徒の実態

少子化が進む現在、中学生にとって日常生活の中で幼い子に接する機会が非常に少なくなっている。したがって幼い子に対する具体的なイメージを持つことができないのは、自然なことかもしれない。しかし、小さな子供が好きな生徒が多く、アンケートでは全体の90パーセント近くが嫌いではないという実態がつかめている。

### (3)指導の工夫

家族の中に幼児を持つ家庭は少ない。また、幼児に接する機会も少ない。そこで、ビデオや自分の幼児期のエピソードをまとめることを通して自分を生み育ててくれた親や周囲の人びとへの感謝の気持ちを持つようにした。さらに、現在の自分だけでなく将来を見通してライフサイクルの中に自分自身を位置付けること、家族にとって自分の存在を肯定的にとらえさせようと考えた。

## 3 題材の目標

幼児の心身の発達の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割を考え、自分にできることを考えたり、実行したりすることができる。

## 4 評価規準

観点別項目	評価規準	具体的な評価規準	評価方法
生活や技術への 関心・意欲・態 度	幼児に関心をもち、幼児の遊びや幼児の発達と家族とのかかわりについて考えようとしている。	幼児の遊びに関心をもとうとしている。	・自己評価表 ・ノート ・ペーパー ーテスト ・発表
		心身の発達と遊び、人とのかかわりを意欲的に学ぼうとしている。	
		幼児のおもちゃに興味を持ち、おもちゃの役割について意欲的に考えようとしている。	
		幼児の身体や運動機能の発達について自分と照らし合わせ、意欲的に考えようとしている。	
		幼児の心の発達(情緒・言語・社会性)について意欲的に学ぼうとしている。	
		基本的な生活習慣の形成について学ぼうとしている。	
		子どもと家族のかかわりについて感心を持とうとしている。	

		小さい頃の周囲の人びととの関係や、幼児期における現代社会の問題点について積極的に考えようとしている。	
生活を工夫し創造する能力	幼児の遊びや幼児の発達と家族との関わりについて課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	生活習慣の自立のために家庭内では、どんな場面があるか考える。 子どもが育つ環境について家族はどんな関わり方をすることが大切か考えることができる。 地域の人々や親戚の人々がどんなかわりをしたら良いか考えることができる。	・自己評価表 ・ノート ・ペーパーテスト ・発表
生活の技能	幼児の遊びや幼児の発達と家族との関わりについて、観察したり調査したりすることができる。	自分の幼児期を想起し、遊びの意義を考えることができる。 子どもが育つ環境として、家族の役割について発表することができる。 親子の観察やロールプレイングなどで考案できる。 子どもが成長していく時の家族の関わりについて考え、発表することができる。 子どもが成長していく時の周囲の人びとの関わりについて考え発表することができる。	・自己評価 ・ノート ・ペーパーテスト ・発表
生活や技能についての知識・理解	幼児の遊びや幼児の発達と家族との関わりに関する基礎的な知識をみにつけている。	遊びの重要性について理解している。 心身の発達と遊びの関連について理解している。 おもちゃの役割について理解している。 幼児の身体や運動機能の発達について理解している。 幼児の情緒・言語・社会性の発達の概要について理解している。 基本的な生活習慣の形成の重要性について理解している。 子どもが育つ環境についてどんなことが大切か理解している。 幼児のための社会施設や法律・制度について理解している。	・自己評価 ・ノート ・ペーパーテスト

## 5 指導と評価の計画

時数	小題材名	指導目標と内容	評価規準
1	自分の成長と家族	・自分の成長を振り返り、自分と家族や家庭生活について考えを深める。	自分の成長を振り返り、家族や多くの人に支えられていることに気づき、意欲的に学習に臨もうとしている。 (関心・意欲・態度)
2	幼児の観察	・地域の幼児の観察を通して幼児の遊んでいる場所や遊びに関心を持たせる。	地域の幼児の遊びの特徴を知り、関心をもつ。(関心・意欲・態度) 観察のための具体的な行動計画を立てられる。(技能)

3	幼児の遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの実態を知るとともに発育や運動機能</li> <li>・社会性との関連を理解させる。</li> </ul>	<p>自分の生活と比較しながら幼児の遊びやさまざまな発達について知ろうとしたり考えようとする。(関心・意欲・態度)</p> <p>幼児との関わりを工夫する。</p> <p>(工夫・創造)</p>
4	幼児の心身の発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と比較をし幼児の心身の発達の特徴を知る。</li> </ul>	<p>幼児の身体の特徴や成長についてまとめることができる。(知識・理解)</p>
5	基本的生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣を理解する。</li> </ul>	<p>基本的生活習慣について関心をもち、気ついたことをまとめる。</p> <p>(関心・意欲・態度)</p> <p>まとめたことを発表する。(技能)</p>
6	保育所・幼稚園訪問前の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時までの学習から自分の課題を確認する。</li> </ul>	<p>自分の課題を考え、見つける。(技能)</p> <p>幼児とのかかわりや訪問での注意点等の話し合いについて積極的に参加し、訪問への意欲をもつ。(関心・意欲・態度)</p>
7~8	保育所・幼稚園訪問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児とのふれあいを通して自分の課題追求のための手がかりをつかむ。</li> </ul>	<p>自分の課題の手がかりをつかめるよう意欲的に幼児とかわる。</p> <p>(関心・意欲・態度)</p> <p>課題追求に意欲的に取り組める。(技能)</p> <p>訪問記録をまとめることができる。(知識・理解)</p>
9	幼児についての課題の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問記録の整理と課題に沿った情報収集の方法を知る。</li> </ul>	<p>幼児についての課題を追求し、良く考えて課題を選択する。(関心・意欲・態度)</p> <p>課題に沿った情報収集や手段を考える。</p> <p>(技能)</p>
10	幼児についての課題追求	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に関する資料を収集してまとめる。</li> </ul>	<p>資料を収集し適切に扱う。(技能)</p> <p>課題に沿った情報収集や手段を考える。</p> <p>(工夫・創造)</p>
11	幼児についての課題追求	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助言を受け課題を深めながらレポートを完成させる。</li> </ul>	<p>仕上げに向けて意欲的に作成する。</p> <p>(関心・意欲・態度)</p> <p>構図などを良く考え、わかりやすく表現するための工夫がある。(工夫・創造)</p>
12	幼児が育つ環境としての家族の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児が育つ環境や、家族について考えを深める。</li> <li>・発表を通してお圧いの成果を共有しあい、よさを認める。</li> </ul>	<p>自分の取り組んだ課題をレポートにまとめ、課題を解決するために工夫する。</p> <p>(工夫・創造)</p> <p>発表を通して幼児に関する課題を考えたり、家族の役割について実践しようとする。</p> <p>(関心・意欲・態度)</p>
13	幼児が育つ環境としての家族の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート発表をもとに幼児が育つ環境としての家族の役割について班ごとに話し合う。</li> </ul>	<p>レポート発表を通して、幼児が育つ環境としての家族の役割について自分の考えをまとめたり、話し合いに積極的に取り組んでいる。(関心・意欲・態度)(技能)</p>

## 6 本時の展開

- (1)日時 平成16年 月 日(金) 14:00~14:50
- (2)学級 第 学年 組
- (3)場所 第 学年 組教室
- (4)本時の目標 ・自分と比較をし幼児の心身の発達の特徴を知る。

## (5)評価規準

評価規準	具体的な評価規準	評価方法	手立て
幼児の心身の特徴や成長についてまとめることができる。	・ 幼児の心身の特徴をワークシートにまとめ発表することができる。	・ ワークシート	・ 解答を提示し記入させる。 ・ 個別に指導する。

## (6)展開

過程	学習内容	生徒の活動	教師の活動	隔考
導入	・ 学習の課題	「私はだれでしょう。」 幼児の頃の写真を見て、今の自分たちとの違いで、気づいたことを発表する。 ・ 本時の学習課題を設定する。「体と運動機能の発達について考えよう。」	・ 視覚に訴える資料を使い、気づいたことを自由に発表し、意欲を高める。	・ 幼児期の写真
展開	・ 身長と体重の発達  ・ 幼児・中学生の体型の違い  ・ 歯の発育  ・ 体の機能の発達  ・ 運動機能の発達	・ 0歳から16歳までの身長と体重の増加を状態を調べる。 ・ 幼児の体型の特徴について発表する。  ・ 乳歯の発育について知る。  ・ 幼児期の体の機能の発達について知る。  ・ 全身運動と部分運動の発達の様子をプリントにまとめる。	・ 幼児期は、身長・体重の増加が激しいことを理解する。 ・ 幼児の体のつりあいを理解する。 ・ 身長に対して頭高の割合が大きいのはなぜか理解させる。 ・ 乳歯・永久歯について比較できる資料を用意する。 ・ 体温、呼吸、脈拍、消化、吸収、睡眠と覚醒のリズムなど体の機能について説明する。 ・ 運動機能の発達には順序性があること。また、個人差があることを知らせる。	・ プリント  ・ プリント  ・ プリント  ・ プリント
まとめ	・ 本時のまとめ  ・ 次時の確認	・ 本時の学習内容についてまとめる。 - ・ 自己評価をする。 ・ 次時の学習内容と準備について確認する。	・ プリントにまとめられているか確かめる。	・ プリント ・ 自己評価表